

大規模災害への備え

株式会社アトス

家族の防災：離れ離れになった家族との連絡手段（安否確認）

災害発生時の連絡方法として多くの人が思い浮かべるのが「電話」です。しかし、災害発生時にはアクセスが急増しますし、警察や消防の通信確保を優先する目的で通信事業者が通信規制をかけるので、電話が極端につながりにくくなります。

I. インターネットの活用

ス

マホやタブレットでネットを利用する場合、情報を細かく分割して伝送する方式なので回線がパンクしにくく、電話と比べて連絡しやすくなっています。*

各種防災アプリやTwitter、LINE、Facebook、Skype 等をインストールしておくと役に立つかもしれません

インターネットが使用できない場合

II. 00000JAPAN（ファイブゼロジャパン）

インターネットが利用できない場合、大規模災害発生時に、契約中の携帯電話会社にかかわらず公衆無線LANを無料開放する**00000JAPAN（ファイブゼロジャパン）**という取り組みがあります。これを利用することでインターネットを使うことができるようになります。

III. 災害用伝言ダイアル（171）

そ

そもそもインターネットを利用していない、スマホをもっていない、そんな時は、**災害用伝言ダイアル（171）**の活用です。これは、災害発生時に、被災地の通信が急激に増えてつながりにくくなった場合に利用できる伝言サービスです。

(Aさん→Bさん)

1. 171をダイヤルする
2. 録音を選ぶ
3. 安否を伝えたい人（Bさん）の電話番号を入力する
4. メッセージを録音する



(Bさん→Aさん)

1. 171をダイヤルする
2. 再生を選ぶ
3. 安否確認をしたい人（Aさん）の電話番号を入力する
4. メッセージを再生する

*利用するには市外局番を知っておかなければなりません